

そよげ風

山口市立小郡小学校学校だより

第10号 平成28年2月1日



1月のあったかいお話

先日の大雪の朝、雪かき用のスコップを手に、保護者2名が朝早くからかけつけてくださり、職員と一緒に、懸命に雪かきに取り組んでくださいました。また、子どもたちと一緒に学校まで歩いてくださった方や、登校時刻の変更にもかかわらず、それに合わせて厳寒の中を交通指導に立ってくださった方もたくさんいらっしゃいました。

水道管の不具合により、急遽登校を遅らせる対応をとらせていただきましたが、各家庭では出勤時間等それぞれにご都合があったにも関わらず、臨機応変に対応してくださり、本当にありがたく感じました。改めて感謝申し上げます。

さて、一月の参観授業終了後に、PTA主催で教育講演会が開催されました。難病とたたかっている子どもたちの夢をかなえ、生きる力や病気と闘う勇気をもってほしいという願いから、子どもたちのかわいい夢の実現に向けボランティアに取り組んでいらっしゃる永井啓子様は、『夢の力、命の輝き』という演題でご講演いただきました。卒業を控え、まさに夢や目標に向かって本校を巣立とうとしている6年生児童も、保護者の方々に混じって一緒に聴かせていただきました。その一場面で、とても印象的な場面がありました。

『お父さんのお嫁さんになりたい』という、小さな女の子らしい夢の実現に向けてのお話の時のことです。

「この子の夢の実現には、どんな準備が必要だと思いますか？」という問いかけの後、病院内の一室を借りた、手作りの素敵な結婚式会場が画面に映し出されました。その瞬間、子どもたちの間から、期せずして拍手が起きたのです。講演後の講師の方との雑談の中でも、このときのごことが一番に話題に上がりました。これまでの講演の中でこんな経験は初めてだと、講師の方が感激の面持ちで話してくださいました。

私は、この期せずして起こった拍手に、小郡小の子どもたちの感性の豊かさに改めて気付かされた思いがしました。と同時に、この一年間、本当に多くの感動を与えてくれた6年生の成長を実感し、小学校を卒業しても、どうか一人ひとりが夢や希望に向かって、自分らしくひたむきに歩いてほしいと願わずにいられませんでした。

記録的な厳しい寒さの1月となってしまいましたが、その一方でたくさん、心が温まる場面を経験することができた1月でもありました。月は変わって2月、梅の便りを待ちながら、現学年の総仕上げに入っていきます。

「人権教育参観日についてのアンケート」を終えて

1月に実施しました「人権教育参観日についてのアンケート」へのご協力ありがとうございました。保護者の皆様より62%の回答をいただきました。今後の教育の充実に向け、参考にさせていただきます。たくさんの参考になるご意見・ご感想をいただきましたので、ほんの一部ですがご紹介します。

1 授業についての感想

なかよし	<ul style="list-style-type: none">一人ひとり質問の内容や仕方を変えて授業されており分かりやすかったです。「おもてなし」では、実際におもてなしをして学び、自信を少しずつつけている様子も見られよかったです。
たいよう2	<ul style="list-style-type: none">みんな学校に関する人たちへの感謝の心が多くもてていて、とてもうれしく感じました。
1年	<ul style="list-style-type: none">肌の色が違うだけでみんな同じ子どもということを素直な気持ちで感じていたようです。見た目だけで差別するようなことをしないようにこれからも心の中にもっていてくれたらと思います。
2年	<ul style="list-style-type: none">仲良くなりたい、仲間になるためにどうしたらいいのか、どうしてあげたいのか、しましまを助けに行った勇氣などを家に帰って子どもともう一度話してみました。相手の気持ちを分かってあげられるすばらしさをこれからも大切にしてほしいです。
3年	<ul style="list-style-type: none">ご先祖様、子どもたち、そして私たち親、おじいちゃん、おばあちゃん・・・本当に多くの命がつながって今の自分たちがいる。そして、その命はとても大切なものだということがこの授業でよく学べたと思います。分かりやすいテーマで、家族が思いやりをもって助け合うということが再認識できたと思います。相手への言葉のかけ方次第で相手の気持ちを優しくさせたりイライラさせたりするということがとても分かりやすく伝わったと思います。わが子にも、もっと相手の気持ちを考えて発言、行動できる子になってもらえるように伝えたいと思います。
4年	<ul style="list-style-type: none">お互いを認め合うことが信頼関係形成の上でとても大切だということが子どもたちに伝わったと思います。
5年	<ul style="list-style-type: none">世界には学校に行けない同じ年の子どもがいること、危険を感じながらも子どもたちのために活動している勇敢なマララさんがいることを知ることで、今学校で学べる大切さを授業で改めて感じたと思います。
6年	<ul style="list-style-type: none">今回の授業では事例を挙げて考えていくことで多くの問題点を知ることができ、とても有意義な授業だったと思います。また、この授業をきっかけに家庭でもスマートフォンやインターネットについて話す機会をもち親子で理解を深めていく必要があると感じました。

2 人権教育について感じておられること

- 自分がされて嫌なことは、人にもしない。言わない。【最多】
- 相手の気持ちを考えて、行動や発言をする。【多数】
- 返事や挨拶、お礼などをきちんとする。【多数】
- 人を見かけだけで判断しない。【多数】
- 困っている人がいたら助ける。【多数】
- 小さい子には優しくする。【多数】
- 笑顔で心がける。【多数】



- ・子どもが学校の出来事を話してくれた時に「どう思った？」とか気持ちを聞くようにしている。
- ・人の悪口や、気付かずに人を傷つけているような発言について厳しく注意している。
- ・他者の人権も大切だが、自分自身にも人権があり、いかなる時も人にたたかれたりけなされたりされる必要はない。また、そのような時は、無理にがまんせず恥ずかしがらず親に話すように言っている。
- ・人と違うところがあってもそれは個性であり、人と違っていてもいいんだと言い続けている。
- ・年齢は関係なく、みな平等であることを伝えている。
- ・自分がされて嬉しいことをする、言う。
- ・人の話をきちんと聞く。 ・相手の目を見て話す。
- ・丁寧な言葉を使う。
- ・友達のよいところを見つける。
- ・自分自身をまず大切にする。
- ・人のせいにするのではなく、自分をふり返る努力をする。
- ・嫌なことは嫌と言う。
- ・一つのことでもその人のことを決めつけない。
- ・その人がどんな人か自分で実際に接して自分で考える。人の噂話などで簡単に判断しない。
- ・約束したことは守る。
- ・わざとでなくても、ぶつかったり当たったりしたら謝る。
- ・誰かに意地悪されても相手がきちんと謝れば許してあげる。
- ・差別をしない。 ・仲間はずれにしない。
- ・人をたたかない。蹴らない。 ・人の悪口を言わない。
- ・うそをつかない。



～ご協力ありがとうございました～

小郡地区小中連携協議会を開催しました

1月26日（火）に本校において、「小郡地区小中連携協議会」を開催しました。

この会では、小郡地区3つの小学校と小郡中学校の代表者が、「学力向上」・「豊かな心」・「たくましい体」に関する3つの部会に分かれて、各校の取組を紹介したり、成果と課題について協議したりしました。

最後に、小郡地区の子どもたちは、これからも小中9年間でしっかり育てていくことや常に成果と課題を共有していくことを確認し合いました。

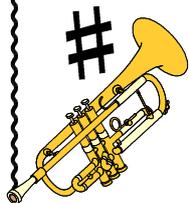


小郡小学校吹奏楽部

スプリングコンサートのお知らせ

3月6日（日）

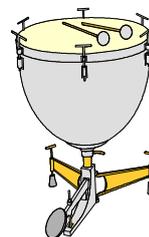
13:30～15:30



小郡小学校体育館

<入場無料>

演奏曲目 「天の剣」、「銀河鉄道999」など



ご来場を
お待ちしております！

賛助出演 小郡中学校吹奏楽部

2月の行事予定

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1日（月）クラブ活動 | 16日（火）入学児童就学説明会 |
| 2日（火）全校朝会 | 18日（木）にこにこタイム |
| 3年校外学習 | 22日（月）クラブ活動 |
| 4日（木）集金日 | 23日（火）参観日（5校時） |
| 5日（金）読み聞かせ（5年） | 学級懇談会（1～5年） |
| 8日（月）代表委員会 | 24日（水）学校保健安全委員会 |
| 9日（火）ベルマーク収集日 | 26日（金）読み聞かせ（4年） |
| 12日（金）小郡中入学説明会 | 29日（月）委員会活動 |
| 15日（月）委員会活動 | |

